

緑の風 NEWS

JR東労組



JR東労組ホームページ

East Japan Railway Workers' Union 2023年3月2日 No.118

2023春闘 第1回交渉報告

賃上げに対する会社スタンス

慎重



会社が示した「基本スタンス(要旨)」

- 基準内賃金、特に定期昇給やベースアップの引き上げは、長期にわたり総額人件費に多大な影響を及ぼすことから、中長期における経営変化の変化に対応するための生産性向上の進捗、業績動向、物価等の経済動向、取り巻く社会状況等を踏まえつつ、職責・職能・資格等級・生計費水準と様々な要素を勘案して判断する必要がある
- 足元では、第3四半期では黒字を確保することが出来ており、今後の社会活動の正常化に向けた兆しが見えてきたが、当初計画していたご利用状況まで回復していないことからしても、いまだに厳しい状況にある
- そのような中で、社員の皆さんにおいては、融合と連携による収益拡大や、コストダウンといった生産性向上が動き出したところ
- 要求については、総額人件費に与える影響等も踏まえて、**慎重**に判断する

経営状況

- 営業利益は 3 期ぶりの黒字。しかし、**通期の業績は楽観出来るものではない**
- **運輸収入は想定した計画まで達していない**
- **1月の鉄道営業収入はコロナ前の約80%**
- **業績予想の達成には、より一層の収益確保とコストダウンが必要**
- **有利子負債は1兆円増加。20年前の状態**
- **引き続き、厳しい経営にある**

物価上昇

- **消費者物価指数は、前年同期比で4%上昇。企業物価指数はこれを上回る10%程度の上昇**

モチベーション

- 支社、現業機関の再編の新たな組織・仕事において、社員1人ひとりが、事業の垣根を超えて、成果を出すことで、**仕事を通じた達成感、充実感、労働条件向上といった働きがいの創出**と、社員・家族の幸福の実現と好循環につながる

交渉団の考え

職場の努力に報いると言う経営姿勢が感じられない!

組合員・社員の生活実態には言及していない!

これではモチベーションが上がらず、離職は止まらない!

会社が示したスタンスに全組合員で立ち向かおう!
職場で働く者の本音を聞き、組織拡大を実践しよう!!

